



ガリバー・カー・オブ・ザ・イヤー2010 ～ 激動の2010年、消費者が選んだ優秀なクルマ発表 ～

株式会社ガリバーインターナショナル(本社:東京都千代田区、以下:ガリバー)のシンクタンクであるガリバー自動車研究所は、毎年恒例(※1)となる「ガリバー・カー・オブ・ザ・イヤー2010」を発表した。

「消費者にとって本当に価値のあるクルマ」である『ガリバー・カー・オブ・ザ・イヤー2010 大賞』は、新車部門で「トヨタ・マークX」中古車部門は「トヨタ・プリウス」が獲得し、昨年とは一味違った結果となった。また、「購入するならこのクルマ賞」新車部門で「トヨタ・パッツ」中古車部門は「トヨタ・プリウス」が獲得するなどエコカー人気は継続。賞はその他に「リセールバリュー賞」「研究所長賞」などがある。各賞は以下の通り。

(※1)2003年に開始し、今年で7回目

(※2)リセールバリューとは、「リセール(再び売る)時の「バリュー(価値)」のこと。3年後中古車として再び市場に出る際の人気を指標化したもので、リセール率が高い車は人気があり、低ければ人気のない車となります。

『ガリバー・カー・オブ・ザ・イヤー2010大賞』

新車部門

『トヨタ・マークX』
エコカーにはもう飽きた？



トヨタは同部門を3年連続獲得。売れ行き厳しいセダンだが、意外にも女性ユーザーからの票を集めた。トヨタというブランドと高級セダンの組み合わせの信頼は現在も健在のようだ。

中古車部門

『トヨタ・プリウス』
現実的なエコの代名詞



減税・補助金のおかげですっかり定番となったエコカーの代表格。2代目の中古車は性能と価格のバランスに優れる。中古車でも最も売れているハイブリッドカーということで文句無しの受賞だ。

■購入するならこのクルマ賞

新車部門

『トヨタ・パッツ』



トヨタ車中で2番目に小さいパッツは、ダイハツとの共同開発で誕生した主に女性向け車。女性から多数の票を集めた。

中古車部門

『トヨタ・プリウス』



新車部門と違い中古車は大賞と結果が変わらず、プリウスのW受賞。名実共にナンバー1は2年連続。

■リセールバリュー賞 『ホンダ・シビック タイプR ユーロ』

将来的な価値が最も高いリセールバリュー賞には、「ホンダ・シビック タイプR ユーロ」が選ばれた。タイプR ユーロは日本には設定の無かったハッチバックモデルをベースに輸入される限定車で、走りの良さやスタイリングが人気のポイント。更にはシビックの国内販売終了により希少性が高まる事も予想され、リセールバリューが高くなった。

■ガリバー自動車研究所所長賞 『日産・セレナ』

所長賞には「日産・セレナ」が選ばれた。ライバルのホンダ・ステップワゴンが大きく変わったのに対してセレナは先代モデルを熟成させた。それだけ優れたパッケージを先代より採用していた事になり、あえて変えなかった日産にエールを送りたい。いいモノはあまり変わらなくともいいという見本的存在だ。



■ レポートに関するお問い合わせ

株式会社ガリバーインターナショナル 広報部
〒100-6425 東京都千代田区丸の内2-7-3 東京ビル25階
TEL:03-5208-5501 FAX:03-5208-5511

■ レポート総合企画/制作

ガリバー自動車研究所 所長 鈴木詳一

ガリバー・カー・オブ・ザ・イヤー2010 ノミネート車種

・新車部門

2009年10月～2010年10月までに日本国内で発売された主要車種44台。

メーカー	車名
トヨタ	マークX
トヨタ	サイ
トヨタ	パッソ
日産	フェアレディZ ロードスター
日産	フーガ
日産	ルークス
日産	ジューク
日産	マーチ
日産	エルグランド
ホンダ	ステップワゴン
ホンダ	CR-Z
ホンダ	シビックタイプR EURO
ホンダ	フリードスパイク
マツダ	プレマシー
三菱	RVR
三菱	パジェロ(クリーンディーゼル)
スバル	ルクラ
スバル	プレオ
スバル	インプレッサXV
スバル	インプレッサWRX STI 4ドア
スズキ	キザシ
スズキ	アルト
スズキ	スイフト
ダイハツ	タントエグゼ
ダイハツ	ブーン
フォルクスワーゲン	ポロ
フォルクスワーゲン	ゴルフ ヴァリアント
メルセデス・ベンツ	Eクラス・ステーションワゴン
メルセデス・ベンツ	E350 BlueTEC アバンギャルド
メルセデス・ベンツ	Eクラス・カブリオレ
メルセデス・ベンツ	ML350 BlueTEC 4MATIC
BMW	5シリーズ セダン/ツーリング
BMW	5シリーズ グランツーリスモ
BMW	X1
アウディ	A5スポーツバック
ポルシェ	カイエン
ポルシェ	パナメーラ(V6モデル)
プジョー	RCZ
プジョー	3008
シトロエン	DS3
シトロエン	C3
ジャガー	XJ
キャデラック	CTSスポーツワゴン
シボレー	カマロ

ガリバー・カー・オブ・ザ・イヤー2010 ノミネート車種

・中古車部門

2009年11月1日～2010年10月31日までにガリバーで小売されたトップ40台。

ランキング	メーカー	車名
1	スズキ	ワゴンR
2	ホンダ	フィット
3	ダイハツ	ムーヴ
4	ダイハツ	タント
5	ホンダ	ステップワゴン
6	ホンダ	ライフ
7	ホンダ	オデッセイ
8	トヨタ	アルファード
9	日産	セレナ
10	日産	エルグランド
11	日産	キューブ
12	トヨタ	エスティマ
13	スズキ	パレット SW
14	スズキ	エブリィ ワゴン
15	トヨタ	ヴォクシー
16	トヨタ	クラウン
17	トヨタ	プリウス
18	トヨタ	ヴィッツ
19	スズキ	ラパン
20	ホンダ	ストリーム
21	トヨタ	bB
22	スバル	レガシィ ワゴン
23	ダイハツ	ミラ
24	日産	マーチ
25	スズキ	スイフト
26	スズキ	パレット
27	トヨタ	ハリアー
28	マツダ	デミオ
29	トヨタ	ノア
30	スズキ	アルト
31	トヨタ	ウィッシュ
32	日産	エクストレイル
33	日産	モコ
34	スズキ	ジムニー
35	マツダ	MPV
36	スバル	フォレスター
37	日産	ノート
38	ホンダ	バモス
39	日産	スカイライン
40	三菱	パジェロ ミニ

Gulliver International Co.,Ltd.



ガリバー・カー・オブ・ザ・イヤー2010 調査概要

実施期間	2010年11月26日～2010年11月28日
調査対象	運転免許を保有している18歳～69歳の方
調査地域	全国
調査方法	インターネット調査
調査実数	1000サンプル
回答者属性	男性:500人(50%) 女性:500人(50%)
回答者内訳	男性/29歳以下(100サンプル)
	男性/30代(150サンプル)
	男性/40代(150サンプル)
	男性/50歳以上(100サンプル)
	女性/29歳以下(100サンプル)
	女性/30代(150サンプル)
	女性/40代(150サンプル)
	女性/50歳以上(100サンプル)
調査企画	ガリバー自動車研究所
調査機関	株式会社マクロミル




ガリバー・カー・オブ・ザ・イヤー2010 各部門の投票数


昨年のガリバー・カー・オブ・ザ・イヤーは各部門でプリウスが首位となり、エコカー時代の幕開けともいえる結果とだったが、今年のハイブリッドカーのエントリーはホンダ・CR-Zとスポーツエコカーだったため、昨年のプリウスほど票が集まらなかった。票もバラつきが見られ、新車部門1位のクルマは昨年の半分の票しか集められず、異常なまでの人気の照明となった。その結果か、中古車部門ではハイブリッドカーのプリウスが相変わらずの人気でこの人気は当面継続する見込みだ。補助金が終了し中古車の割安感も手伝い販売台数が今後も伸びる事が予想される。

- どの車をもっとも優れていると思いますか？ 1つだけお選びください。(有効回答数:1000)

新車部門

順位	車種	票
1	「トヨタ」マークX 	112
2	「ホンダ」CR-Z	74
3	「トヨタ」サイ	64
4	「トヨタ」パッソ	63
5	「日産」エルグランド	56
6	「ホンダ」ステップワゴン	49
7	「日産」マーチ	44
8	「日産」フェアレディZロードスター	42
9	「日産」フーガ	38
10	「ダイハツ」タントエグゼ	30

中古車部門

順位	車種	票
1	「トヨタ」プリウス 	239
2	「ホンダ」フィット	86
3	「トヨタ」クラウン	73
4	「スズキ」ワゴンR	53
5	「トヨタ」アルファード	44
6	「トヨタ」エスティマ	39
7	「スバル」レガシィワゴン	35
8	「日産」スカイライン	34
9	「トヨタ」ヴィッツ	31
10	「日産」エルグランド	29

- 自分で購入するとしたらどのクルマが良いですか？ 1つだけお選びください。(有効回答数:1000)

新車部門

順位	車種	票
1	「トヨタ」パッソ	108
2	「ホンダ」ステップワゴン	84
3	「トヨタ」マークX	77
4	「日産」エルグランド	71
5	「日産」マーチ	58
6	「ホンダ」CR-Z	52
7	「ダイハツ」タントエグゼ	50
8	「フォルクスワーゲン」ポロ	45
9	「トヨタ」サイ	39
10	「日産」フーガ	29
10	「ホンダ」シビックタイプR EURO	29

中古車部門

順位	車種	票
1	「トヨタ」プリウス	163
2	「ホンダ」フィット	76
3	「スズキ」ワゴンR	62
4	「トヨタ」ヴィッツ	51
5	「トヨタ」クラウン	39
6	「ホンダ」ステップワゴン	34
7	「トヨタ」エスティマ	33
8	「トヨタ」アルファード	32
8	「日産」マーチ	32
8	「日産」スカイライン	32

2位以下で小型車・エコカーが目立つ中、新車部門では5位に日産・エルグランドが入っている。日産の高級ミニバンで先代モデルがFRだったのに対し、ライバルに倣いFFプラットフォームを採用したことで低いフォルムながら居住性を確保しつつも、乗降性が向上するなど先代の良さをそのままにグレードアップされている点が評価されているようだ。

しかし、中古車の票はプリウスにかなり集中しているのに対し、新車の票は比較的バラけている。これは目玉車がなかったというよりも、昨年はプリウスのインパクトが強すぎたと見たほうが良いだろう。今年は各社が評価されるクルマを売り出した当たり年なのかもしれない。

ガリバー・カー・オブ・ザ・イヤー2010 リセールバリュー賞

Ranking	メーカー	車種	リセールバリュー
1位	ホンダ	シビック	64% ~ 73%
2位	日産	マーチ	55% ~ 73%
3位	日産	セレナ	63% ~ 71%
4位	日産	エルグランド	61% ~ 71%
5位	ボルシェ	カイエン	60% ~ 71%
6位	ホンダ	フリード スパイク	57% ~ 71%
7位	ホンダ	フィット ハイブリッド	54% ~ 71%
8位	三菱	パジェロ	61% ~ 68%
9位	スバル	プレオ	46% ~ 65%
10位	スズキ	アルト	46% ~ 65%



2010年のリセールバリュー賞はホンダ・シビック タイプR ユーロが獲得。日本未導入だったハッチバックモデルをベースに2リッターの高出力エンジンを搭載し、走りを極めたモデルだ。元々ホンダのタイプRシリーズはそのパフォーマンスの高さから中古車市場で人気が高く、これまでも高値をキープしている。そしてこのユーロは国内限定販売ということで市場にもそう多くは出回らないため、高値安定である。更にはシビックの国内販売終了のニュースは希少性を更に高めるだろう。

そして2位以下はコンパクト・軽・ミニバンと売れ筋のクルマがランクインしているが、超高級車のボルシェ・カイエンが堂々5位にランクインしており、SUVの人気の高さが伺える。SUVは昨年もレクサス・RXがリセールバリュー大賞を受賞し、中古車市場での安定した人気を証明している。新車市場ではニーズが少なく、販売台数が少ないところが高いリセールバリューにつながっているようだ。また、ホンダ・フィットハイブリッドが7位となり注目だ。現在のところ最安値のハイブリッドカーとなるが、これから納車台数が増え実燃費が明らかになればこの結果に影響を与える可能性がある。

ガリバー・カー・オブ・ザ・イヤー2010 所長賞

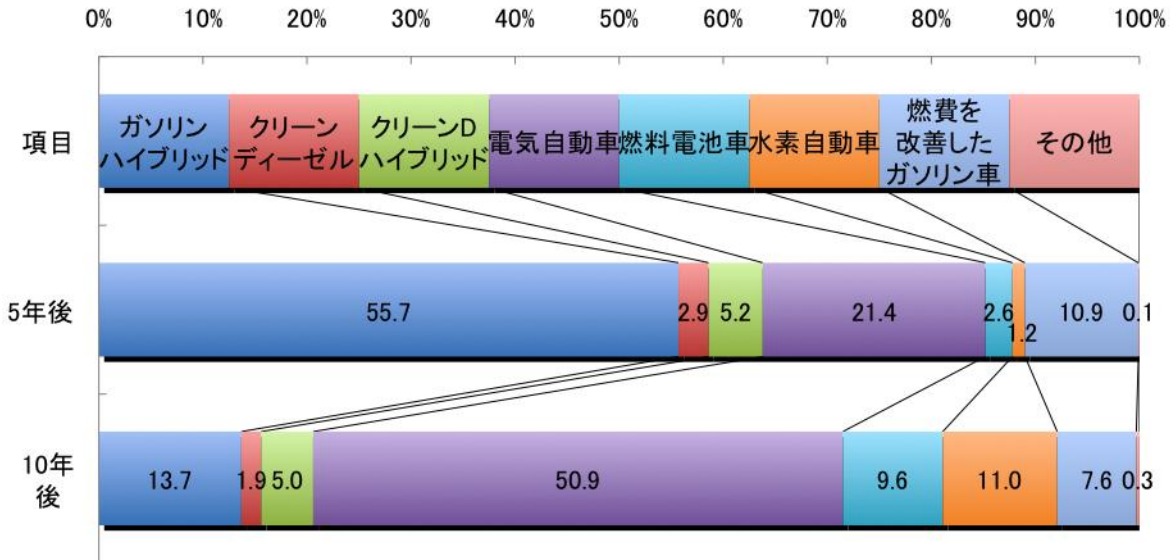


今年の所長賞は日産から登場したばかりのセレナを選出した。セレナはライバル車のトヨタ・ノア／ヴォクシー、ホンダ・ステップワゴンと比べると派手さはないが、その代わりに家族の事を考えつくされた設計で使い勝手のいいミニバンだ。そして今年登場した新型も、先代モデルを正常新化させクラス最大の居住空間と使い勝手の良さを実現している。

併せて課題のひとつであった質感も向上され、古くなってもクルマの良さが褪せにくくなっている。07年から3年連続でミニバン販売台数ナンバー1を達成した先代モデルからかなりのグレードアップが図られており、デザインやパッケージで大きな冒険をしなかったところが逆に冒険ともいえる。「運転する事の楽しみ」という点ではたのジャンルのクルマに敵わないが、運転する事で起きる家族の絆を尊重するなら、こんなクルマもありだと思う。

**今後主流になるのは電気自動車
5年後～ハイブリッド 10年後～電気自動車**

Q. 5年後・10年後に購入を検討するならどんなクルマですか？ 単一回答:n=1,000



今回のアンケートには将来主流となるクルマに対する意見も聞いてみた。5年後はハイブリッドカーと回答したユーザーが半数以上と5年先はまだ現状と大きく変わらないということを示唆している。

しかし10年後となると一気に電気自動車が票を伸ばし約半数が電気自動車が主流になると回答している。

電気自動車は充電のインフラ整備もまだまだ十分ではなく、特にマンション住まいの場合は家庭での充電プラグ確保が困難なのが現状だ。しかしそれも徐々に解消され10年後には整っていると見ているのだろう。

しかし何よりも右のグラフにある価格がポイントとなり、半数以上が同クラスのガソリン車と同等の価格であれば購入しても良いと回答しているが、現状ではやや高いというよりも補助金抜きの場合は同クラスのクルマの倍以上の価格設定になっている。補助金があれば多少おトクに見えるが、高い事に間違いなく、今後の量販化によって価格が下がる事を期待したい。その鍵はリチウムイオンバッテリーの価格にあり、大量生産による価格低下が期待される半面、資源面での不安もある事は確かだ。この価格だけはもう少し時間がかかりそうだ。

Q. 電気自動車を購入するなら？(同クラス車と比較して) 単一回答:n=1,000

